

三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

第5回委員会

-地下水調査結果-

令和元年9月2日(月)

目次

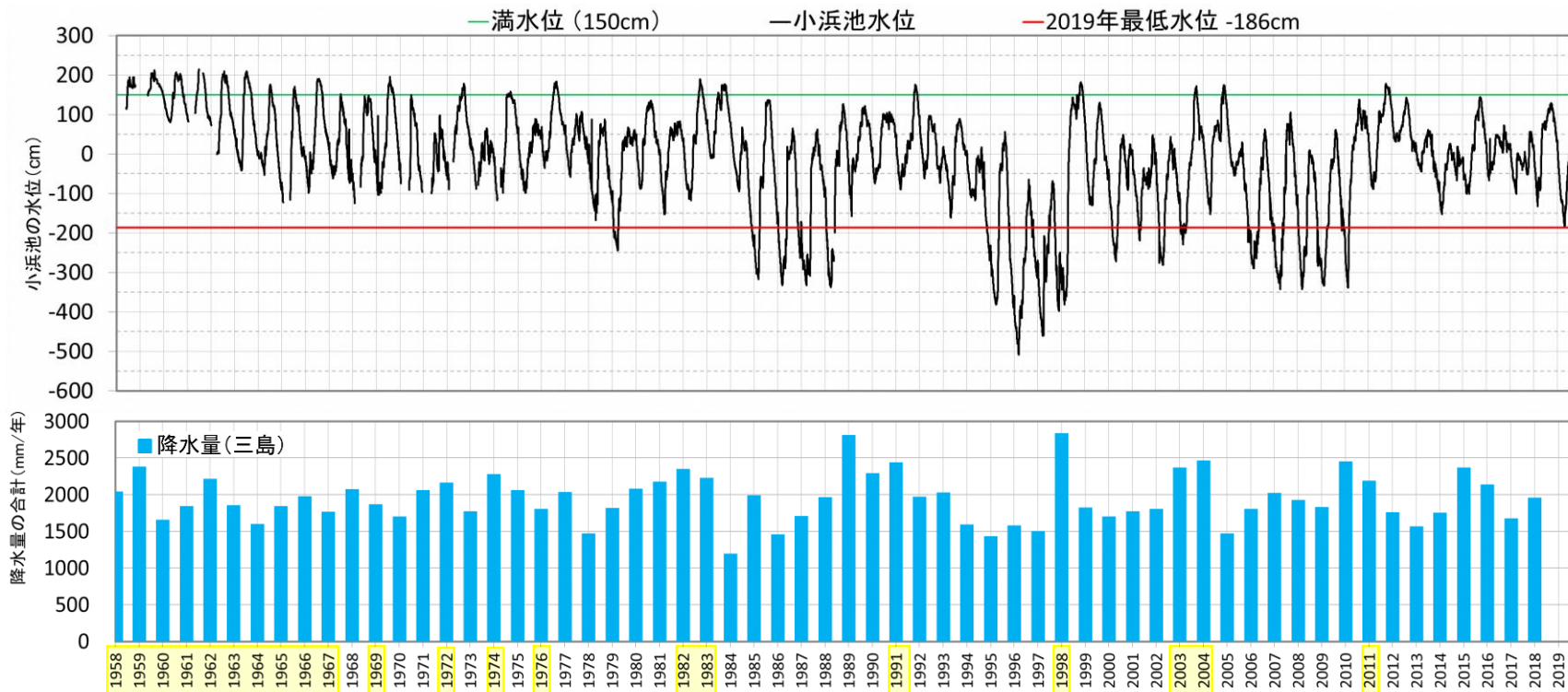
- 1. 三島市 地下水位の経年変化P2
- 2. 三島駅周辺 地下水調査結果P4

1. 三島市 地下水位の経年変化

1. 三島市 地下水位の変化

■ 楽寿園 小浜池水位

- 楽寿園 小浜池は、地下水が地表に現れ形成された池である。
- 小浜池の水位は1958年から観測している。
- 2019年は4月26日に水位-186cmと、2010年以降で最も低い値を示したが、現在水位は上昇している(2019/8/30 水位 37cm)。



□ : 満水年

2. 三島駅周辺 地下水調査結果

2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■観測概要

地点	B-3	B-6	B-7	B-9	B-11	B-14	市観測井戸	県観測井戸	B-No.2	西街区北側	西街区南側
手ばかり水位測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/
自動水位測定	○	○	/	○	○	/	/	/	○	○	○
水質測定	○	○	/	○	○	/	/	/	○	○	○
調査主体	三島市						事業者				

○手ばかり水位測定
・月1回の手動測定

○自動水位測定
・1時間に1回の自動測定

○水質測定
・月1回の水温、pH、EC、濁度の測定、半年に1回の溶存イオン分析
・「西街区南側」「西街区北側」では、水温、pH、ECの自動計測

凡 例

● 地下水観測孔 □ 事業範囲



2. 三島駅周辺 地下水調査結果

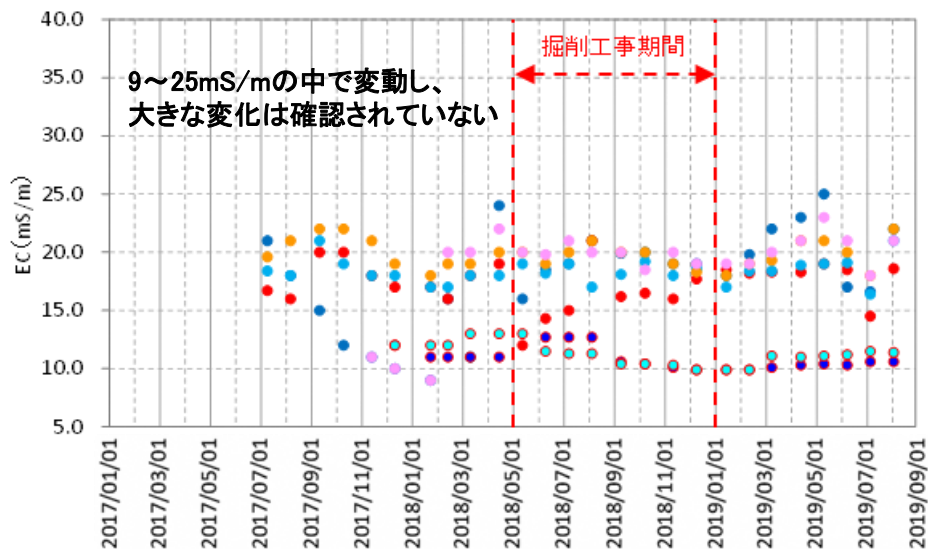
■地下水質調査結果

掘削工事後における地下水質の変化

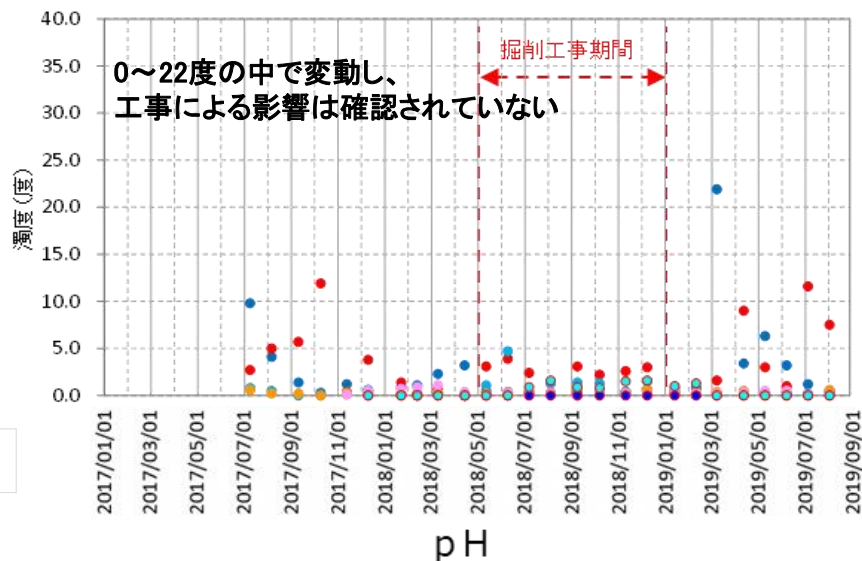
- 西街区における、溶岩の掘削工事が、2018年4月～12月に実施された。
- 工事による地下水への影響と考えられる、**地下水質の変化は確認されなかった。**
- 工事後も工事前と同様の変動傾向にあり、工事による影響は見られない。

凡例 ● B-3 ● B-6 ● B-9 ● B-11 ● B-No.2 ● 西街区南側 ● 西街区北側

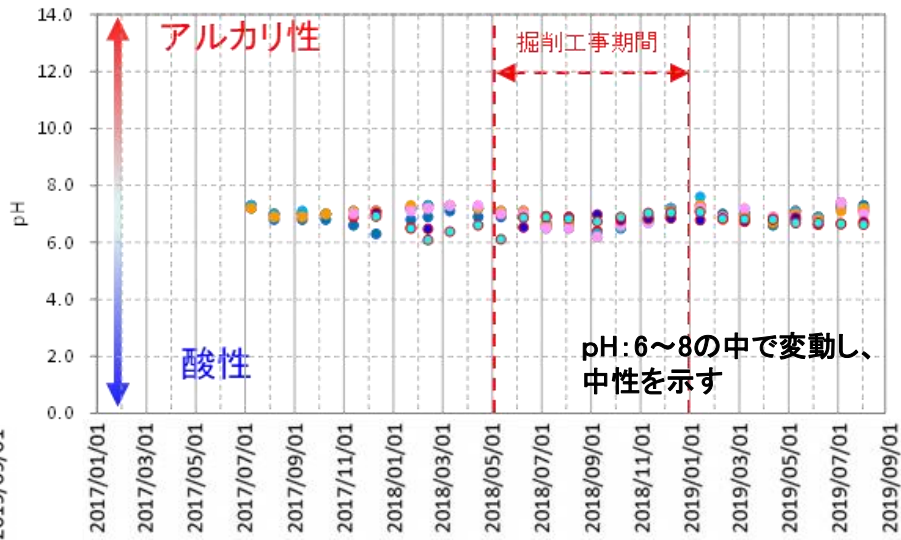
電気伝導度(EC,単位：mS/m)



濁度 (単位：度)



pH



2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■地下水質調査結果(ヘキサダイアグラム)

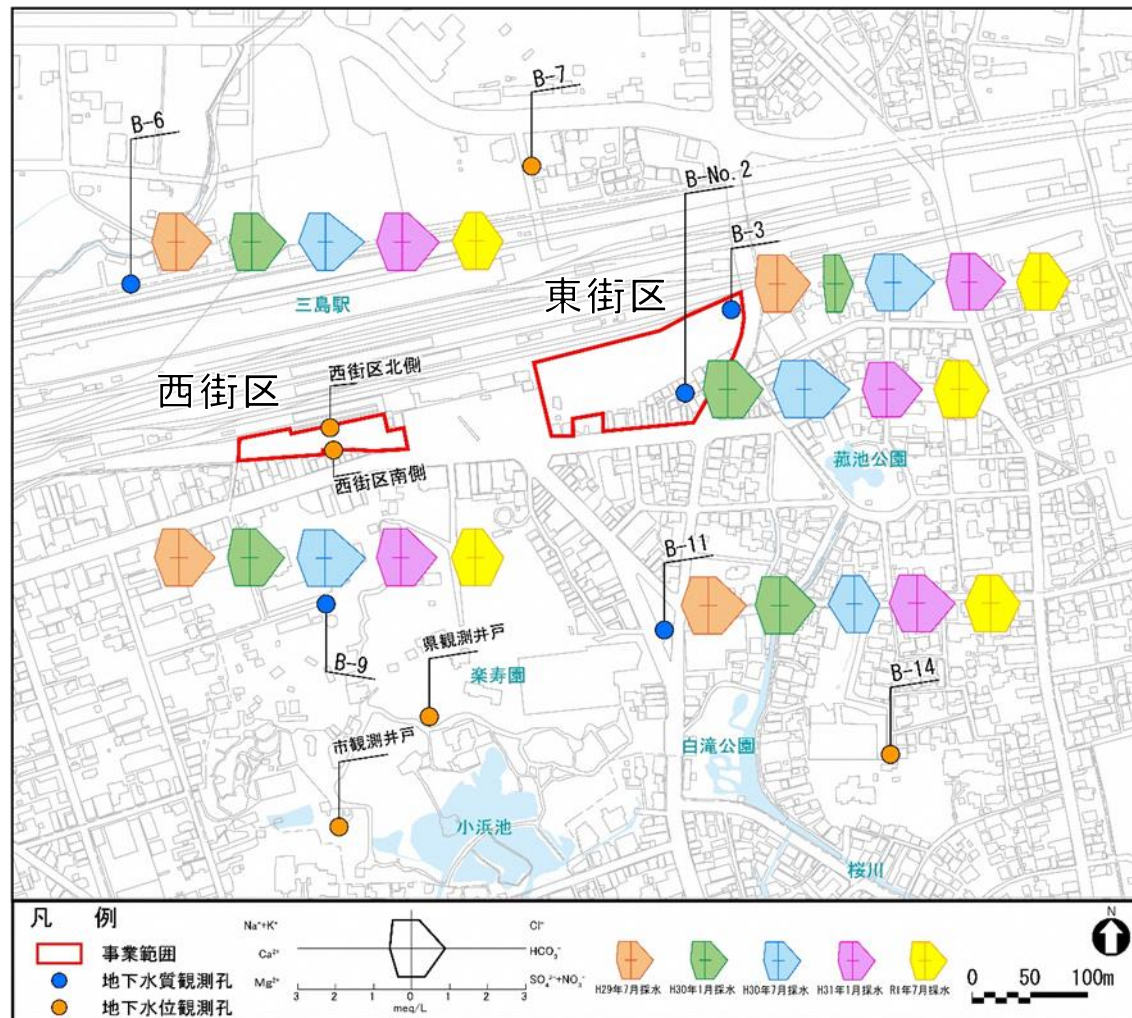
水質調査方法

- ヘキサダイアグラムは、水に溶存している各種イオン濃度を六角形で図示したもので、その形から地下水の特徴を比較することができる。

結果

- 三島駅周辺の地下水質は、陽イオンの Ca^{2+} と陰イオンの HCO_3^- が多い、 Ca^{2+} - HCO_3^- 型の水質を示している。
- 同時期で比較した場合、各地点のヘキサダイアグラムの形に大きな違いがないことが確認できた。
- 地点ごとで比較した場合、季節の違いによる、ヘキサダイアグラムの形に大きな変化がないことが確認できた。

⇒地下水の流れの変化や工事による影響は無いと考える。



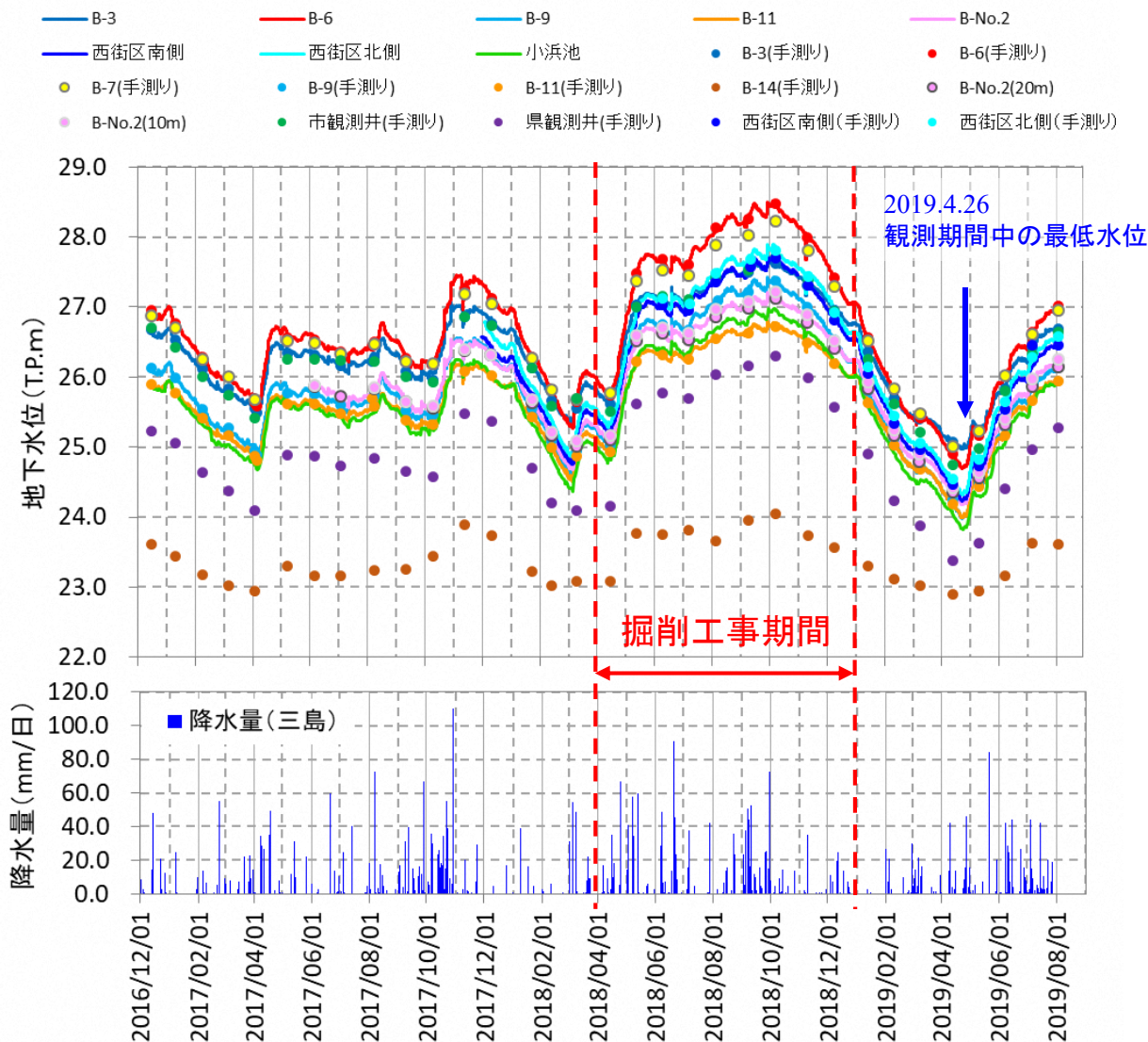
2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■ 地下水位調査結果

掘削工事後における 地下水位の変化

- 西街区における、溶岩の掘削工事(2018年4月～12月)が終了し半年が経過した。
- 工事による地下水への影響と考えられる、**地下水位の変化(低下)**は確認されなかった。
- 工事後の地下水位は、2019年4月26日に最低水位を示し、近年で最も低い値を示した(小浜池水位と同様の変化)。
→降水量が少なかった為と考えられる。

次ページにて説明



2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■地下水位調査結果

- 地下水位が低下し始める11月から、地下水が上昇し始める4月までの半年間の降水量を確認した。
- 三島の昨年からの降水量は例年に比べ少なく、**2000年以降で3番目に少ない降水量**であった。
- 三島の上流に位置する御殿場の昨年からの降水量は例年と比較し特に少なく、**1976年の観測以降2番目に少ない降水量**であった。
- **今年の4月の地下水位が低かった要因の1つとして、昨年からの降水量が少なかったことが考えられる。**

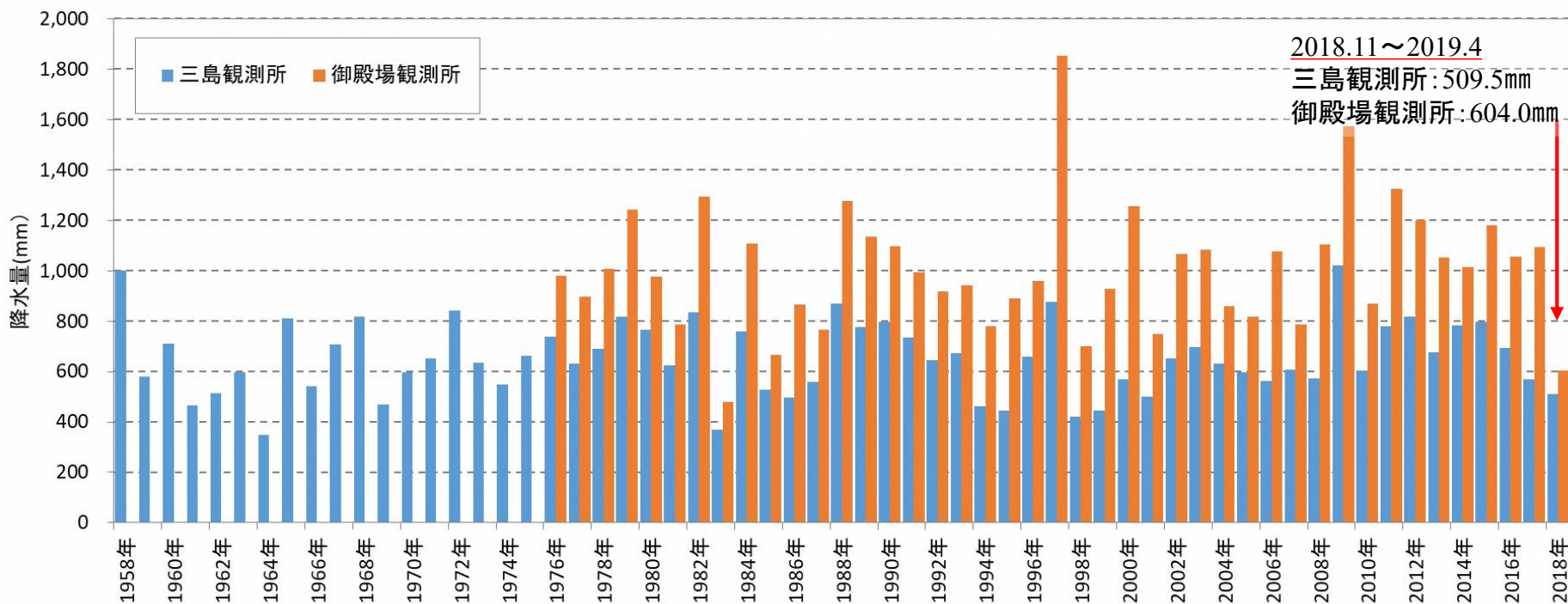


図: 11月～4月の総降水量